

◆ 同志社大学 スポーツ健康科学部 教授

竹田 正樹 (たけだ まさき)

○ プロフィール

新潟県妙高市に生まれる。妙高杉の原スキー場の麓で幼少時よりスキーと親しみながら育つ。大学まで競技スキーを続け、国体・全日本選手権等に出場。競技を続けているうちに、体力の生理学的分析に興味を抱いた。

- ・資格等：全日本スキー連盟公認クロスカントリースキー指導員，検定員，アルペン準指導員，日本ノルディックフィットネス協会マスターインストラクター，日本ウェルネス協会ウェルネスプロフェッサー
- ・最終学歴：筑波大学体育科学研究科 博士（体育科学），運動生理学研究室にて循環器疾患のリハビリテーションやスポーツ競技の呼吸循環・代謝について研究する。
- ・主な役職：日本オリンピック委員会強化スタッフ（医・科学スタッフ），全日本スキー連盟競技本部クロスカントリー医科学・科学スタッフ，全日本学生スキー連盟専門委員，日本体力医学会評議員，日本運動生理学会評議員アメリカスポーツ医学会会員，ヨーロッパスポーツ科学学会会員，京田辺市スポーツ振興審議会会長，京たなべ・同志社総合型地域スポーツクラブ会長，京都体育学会理事

○ 研究テーマ

スポーツ競技力と身体トレーニング論に関する運動生理学的解明
中高年者の健康増進・体力向上のための運動論

○ 研究の概要

スポーツ選手の競技力（なぜ強いのか？）を明らかにするとともに，身体トレーニングによる身体の適応の仕方・限界について，運動生理学的に解明したいと考えている。当たり前のことであるが，スポーツでは体力が非常に大切であることを証明したいと思う。また，それが想像を超えて大切であることが研究をしていてわかった時は大変面白いものである。このような体力の分析やトレーニングの理論は，基本はほぼそのまま中高齢者にも当てはめることが出来る。中・高齢者が健康の維持・増進として行う運動の適切な方法論について，運動生理学的見地から解明したい。また，京田辺市と同志社大学との連携による総合型地域スポーツクラブの創設・仕組み作りを検討している。